

『新興・再興感染症研究基盤創生事業（多分野融合研究領域）』事後評価
令和7年度事後評価 対象課題

令和5年度公募採択:15 課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究期間
Beyond CRISPR：ディフェンスシステムを利用した感染症創薬研究	氣 賀 恒太郎	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所	室長	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
乳児ボツリヌス症発症機構の全容解明に向けた基盤研究	小林 伸英	金沢大学	助教	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
多分野融合研究による HTLV-1 感染症のウイルス感染病態全容解明	佐藤 賢文	北海道大学	教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
次世代ワクチン創薬科学に資する免疫測定基盤技術の創成	佐野 芳	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所	主任 研究員	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
マラリア原虫の肝臓感染特異性を担う分子基盤の解明に向けた多分野融合研究	新澤 直明	東京科学大学	講師	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
空間マルチオミクス解析に基づく細菌性肺炎の重症化分子機構の解明と新規感染制御法の確立	住友 倫子	徳島大学	教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
単一細胞解析技術の統合による HPV18 型幹細胞発癌機構の解明	田口 歩	東京大学	特任 講師	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
モルビリウイルス感染症の理解と対策のための研究開発	竹田 誠	東京大学	教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
ヒト血管系感染モデルを用いたバルトネラ属細菌の病原性評価系の確立と腫瘍形成への関与の解明	塚本 健太郎	大阪大学	特任 准教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	研究期間
ケム・バイオハイブリッド合成を 鍵技術とした多分野連携型赤痢 アメーバ治療薬開発	恒松 雄太	名古屋大学	准教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
脳オルガノイドとマウスモデル を用いたパラミクソウイルス中 枢神経感染制御の研究	橋口 隆生	京都大学	教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 における多臓器不全の発症機構 解明と新規治療法の検討	広瀬 雄二郎	大阪大学	准教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
抗ウイルス機能に優れた T 細胞 を誘導する人工 T 細胞抗原の開 発	本園 千尋	熊本大学	准教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
HTLV-1 感染症のエピゲノムコー ドの解読と戦略的創薬を目指し た基礎、臨床融合データサイエ ンス	山岸 誠	東京大学	准教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日
多分野融合による節足動物媒介 性ウイルスの宿主間伝播・病態形 成機構の解明と治療法創出に関 する研究開発	好井 健太郎	長崎大学	教授	令和5年6月13日～ 令和8年3月31日